

楽しむ、学ぶ。キャンパスマガジン

日本大学法学部ジャーナル

Journal

vol. 18

2016 April ◯ September

特集 進化する法学部

新たな学びの拠点
新5号館がオープン!

大学での学修の技術を伝授
「自主創造の基礎」

就職活動にも役立つ
学生の資格取得を支援

2016
新入生歓迎号



Journal

特集
進化する法学部

2016 vol. 18 April ◯ September

日本大学法学部 Event Schedule 4月～9月

教務課 学生課 図書館事務課 就職指導課 エクステンションセンター 入学センター 大学院事務課

4 April	4月1日(金)～7日(木)	開講式・新入生ガイダンス 教
	4月2日(土)～6日(水)	学生定期健康診断(2号館) 学 ※3日(日)を除く。5日(火)は新入生のみ(学年・学科・性別等によって日程が異なります)
	4月5日(火)	新入生歓迎会 学
	4月5日(火)・6日(水)	サークル新入部員募集 学 日本学生支援機構奨学金(予約採用)説明会 学 ※高校で予約申請し進学届の手続きをする者
	4月7日(木)	日本学生支援機構奨学金(在学採用)説明会 学 ※これから奨学金を申し込む者
	4月8日(金)	入学式(日本武道館)
	4月9日(土)	平成28年度前学期授業開始 教 キャリアプランガイダンス 教
	4月13日(水)	課外講座合同資格説明会「資格の魅力」 法
	4月14日(木)～21日(木)	各学生研究室説明会 法
	4月15日(金)～22日(金)	課外講座資格別説明会(司法書士、行政書士、宅地建物取引士、簿記2級、 ファイナンシャル・プランニング技能士2級、秘書検定準1級・2級) 法
4月16日(土)～22日(金)	履修登録期間(前学期開講科目及び通年開講科目) 教	
4月18日(月)～22日(金)	図書館オリエンテーション 図	
4月25日(月)	公務員講座総合ガイダンス 法	
5 May	5月6日(金)～9日(月)	各学生研究室説明会 法
	5月16日(月)・17日(火)	履修登録中止期間(前学期開講科目及び通年開講科目) 教
	5月中旬	第1回総合就職ガイダンス 就
	5月下旬	インターンシップガイダンス 就 就職マナーガイダンス 就
6 June	6月上旬	健康診断結果送付 学
	6月14日(火)	日本大学法科大学院進学説明会(法学部学生用) 法
	6月18日(土)	ミニオープンキャンパス 入
7 July	7月2日(土)	第1回法務研究科進学相談会 法
	7月13日(水)	第2回法務研究科進学相談会 法
	7月18日(月・祝)	「海の日」は、通常どおり授業を実施 教
	7月23日(土)・25日(月)	補講期間 教
	7月24日(日)	オープンキャンパス 入
	7月26日(火)～8月3日(水)	前学期特別授業期間 教
8 August	8月4日(木)	夏季休業開始
	8月22日(月)	第3回法務研究科進学相談会 法
	8月25日(木)・26日(金)	前学期末追試験 教
	8月下旬～9月上旬	海外研修旅行(夏期・アメリカ) ※予定 学
9 September	9月17日(土)	夏季休業終了
	9月20日(火)	後学期授業開始 教
	9月27日(火)～30日(金)	後学期開講科目履修登録期間 教

※各項目についての詳細は、各担当課にお問い合わせください。 教 教務課 学 学生課 図 図書館事務課 就 就職指導課 法 エクステンションセンター 入 入学センター 法 大学院事務課



日本大学法学部ジャーナル
Journal
2016 vol. 18 April ◯ September

2016年4月1日発行 日本大学法学部広報 通巻126号 発行:日本大学法学部企画・広報委員会

<http://www.law.nihon-u.ac.jp/>

詳細情報は、随時掲示板およびホームページを見て確認してください。

「日本大学法学部 Journal」のバックナンバーは、法学部ホームページにてご覧いただけます。
<http://www.law.nihon-u.ac.jp/publication/pr.html>

特集

進化する法学部

2016年春、法学部の三崎町キャンパスに学生たちの新たな学びの拠点、新5号館がオープンしました。新5号館には法曹や士業、公務員を目指す学生の研究室が配置され、より良い学修環境を提供しています。また、法学部がいち早く導入した初年次教育「自主創造の基礎」の成果、就職活動にも有用な資格取得の支援もさらに充実度を増しています。そこで今号では新入生歓迎号として、毎年、進化し続ける法学部の現在を、教育編、キャンパス編、資格取得編の視点からご紹介します。

新入生の皆さん、日本大学法学部へご入学おめでとうございます。法学部の教職員一同は、皆さんを心から歓迎いたします。

日本大学法学部長 **池村正道**



皆さんが入学された日本大学法学部は、いわゆる都心型キャンパスです。都心型キャンパスのメリットの一つは、何よりも交通手段の利便性です。このことは、入学後の諸活動を通じて実感されることになるでしょう。一方、そのデメリットの一つは、独立したキャンパスが無いということです。もちろんそのことを十分理解した上で、私はそれに代わり得るものがあると考えています。それは、三崎町という地域を十分生かした空間利用です。三崎町を一つのキャンパスと見立て、その中に溶け込み、その地域空間を利用することです。

また、皆さんが利用に供することになる法学部施設としては、もちろん日本でも有数の蔵書を誇る充実した図書館、学生利用施設である6号館、3月に竣工した新5号館等があります。特に、新5号館は、創設125周年を記念して建設されたもので、学生の資格試験対応型の施設です。また、新5号館には、国際交流センターが設置され、皆さんの留学等の相談にあたります。

この様に考えますと、三崎町は充実した学生生活を送ることのできる都心型キャンパスと言えるでしょう。利用するのは、皆さんです。どうか充実した、キャンパス・ライフを楽しんで下さい。

三崎町Campus Map 2016



平成28年度おもな年間スケジュール

開講式・新入生ガイダンス	4月1日(金)~7日(木)
入学式(日本武道館)	4月8日(金)
前学期授業開始	4月9日(土)
夏季休業	8月4日(木)~9月17日(土)
後学期授業開始	9月20日(火)
日本大学創立記念日	10月4日(火)
第37回法桜祭(学部祭)	11月3日(木・祝)~5日(土)
冬季休業	12月25日(日)~1月7日(土)
授業開始	1月10日(火)
春季休業開始	2月4日(土)
卒業式(日本武道館)	3月25日(土)

※ 4~9月の詳しい行事日程はP12「日本大学法学部 Event Schedule」をご覧ください。

Contents

2 [特集] 進化する法学部

法学部長挨拶 池村正道

4 Chapter 1 [教育編] 「自主創造の基礎」における取り組み

池田実 教授

日本大学の教育理念 「自主創造」

6 Chapter 2 [キャンパス編] 学生の新たな「学び」の拠点 新5号館が完成!

8 Chapter 3 [資格取得編] 資格取得支援と課外講座

■学生研究室

- 司法科研究室
- 司法書士科研究室
- 弁理士科研究室
- 行政科研究室
- 税理士科研究室
- 公認会計士科研究室

現役研究室生に聞く 資格試験合格者褒賞制度

■課外講座

- 法律分野講座
- 会計分野講座
- 公務員講座
- 就職対策講座

11 就活up!

第6回 新年度スタート まずは就職指導課へ!

就職指導課案内 平成27年度法学部卒業生の主な就職先

12 日本大学法学部 Event Schedule (4月~9月)

教育編

「自主創造の基礎」 における取り組み

すべての1年生に向けて、大学での学修の基礎となる態度、知識、技能を身につけてもらうための導入教育「自主創造の基礎」。日本大学全体の初年次共通科目として順次導入されますが、法学部では他学部在先陣を切って2014年度から実施しています。3年目を迎える「自主創造の基礎」の成果について、この科目全体の運用を取りまとめてきた池田実教授に伺いました。

「教わる」から「自ら学ぶ」へ 大学での修学の基礎を身につける

法学部独自の教科書を作り
他学部在先駆けて導入

「自主創造の基礎」は、法学部のすべての学生が1年次に履修する必修科目です。高校までの勉強とは異なる、大学での専門的な学修を進めていくうえで必要なことを、1年生のうちから身につけてもらうための導入教育です。

現在では日本大学全体で、全学共通初年次教育科目として各学部が順次導入する方針となっていますが、他学部在先駆けて、法学部は2014年度から実施しており、3年目に入ります。

しかも法学部では学部独自の教科書も作っています。これは全学実施の方針となる以前から、導入教育に強い関心を持っておられた政治経済学科の先生方がベースを作っていて、それをもとに改訂したものです。法学部が先陣を切って「自主創造の基礎」を実施できたのもこの教科書の存在が大きいのです。

大事なことは能動的な学修と
予習をして授業に臨むこと

「自主創造の基礎」の授業の特徴は、教員による講義形式ではなく、学生が能動的、自発的に学修する参加型授業

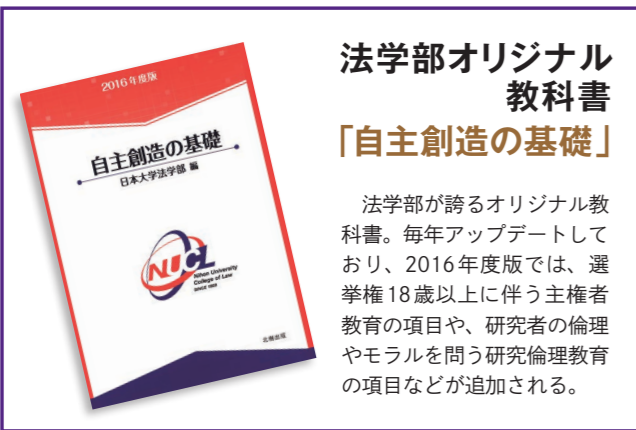
いわゆるアクティブ・ラーニングを採用していることです。学生が自ら考え行動することに主眼を置き、教員は学生をサポートするファシリテーターの役割を担います。授業の進め方としては「反転授業」と呼ばれる手法をとります。これは、学生が事前にきちんと予習をしてきて、授業ではそれを踏まえたうえで、さらに発展的、実践的な演習を行うというものです。授業に出てきて、そこで初めて今日やる事を知るのではなく、しっかりと準備をして授業に臨んでほしいということです。具体的な内容としては、まず前学期

は法学部オリジナルの教科書を使って、大学での学びに必要なスキルをひとつひとつ身につけてもらいます。後半になると、プレゼンテーションやディスカッションなど学生の自主性を重んじる能動的な学修が中心となります。後学期では、授業のほとんどが、あるテーマについてのグループごとの発表や講評になります。学生たちがグループを作って一緒に調べ、原稿を書き、準備をし、発表する、あるいは討論する。人前で発表することは、最初は苦手でも、2回3回とやっていくうちにどんどんよくなっていくはずですよ。



池田実 教授
法律学科教授
憲法、憲法特殊講義などの授業、ゼミナールを担当。
2015年度には自ら「自主創造の基礎」の授業も担当した。

「自主創造の基礎」の一番重要な柱である能動的な学修、やらされるのではなく、自分からおもしろがって勉強するということが、そして大学のすべての授業科目について、きちんと予習をして臨むということが、大学での学びにはとても大事なんだということをぜひ知っていただきたい。これを1年生のうちからしっかりやるかやらないかで今後の学修効果が全然違ってくるということに常々念頭に置いて、この科目に真摯に取り組んでほしいと思います。そして、いったんその学修方法を身につければ、あとはいろいろな選択肢が大学のカリキュラムには用意されていますから、それを自分で好きなように選び、自分の能力をどんどん伸ばしていくことができるようになるのです。



法学部オリジナル教科書 「自主創造の基礎」

法学部が誇るオリジナル教科書。毎年アップデートしており、2016年度版では、選挙権18歳以上に伴う主権者教育の項目や、研究者の倫理やモラルを問う研究倫理教育の項目などが追加される。

【前学期】「自主創造の基礎Ⅰ」(2015年度の例)

- 1 スタートアップ
- 2 大学で学ぶとは①②
- 3 図書館を利用してみよう
- 4 情報を収集・整理してみよう
- 5 論理的思考を身につけよう
- 6 論説を要約してみよう
- 7 レポートを書いてみよう
- 8 小論文を書いてみよう
- 9 プレゼンテーションをしてみよう①②
- 10 ディスカッションをしてみよう
- 11 デイバートをしてみよう
- 12 自分のキャリアをデザインしてみよう
- 13 前学期の学びを振り返ってみよう

【後学期】「自主創造の基礎Ⅱ」

- 1 テーマA(前学期末に指定)についての検討—背景説明・論点の抽出・検討
- 2 テーマAについての検討—グループごとの発表 ①②③
- 3 教員・学生による講評/テーマBの選定
- 4 テーマBについての検討—グループごとの発表 ①②③
- 5 教員・学生による講評/テーマCの選定
- 6 テーマCについての検討—グループごとの発表 ①②③
- 7 教員・学生による講評
- 8 テーマABCで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう
- 9 後学期の学びを振り返ってみよう

教員が学生一人一人に
きちんと目配りしています

学生に大学での学びや研究の技術を身につけてもらうことが「自主創造の基礎」の目的ですが、実はそれ以外にも様々な効果を生み出しています。

まずは学生同士のコミュニケーションです。法学部では「自主創造の基礎」を40人前後のクラスで行っていますが、そのクラスは基本的に外国語のクラスと連動しており、たとえば1時間限目に「自主創造の基礎」、同じ教室でそのままた2時間限目の外国語の授業という流れになっています。それが1年間続くので学生同士のつながり、友達になる機会が増えるということになりますね。

そして教員が学生の顔や名前をしっかり覚えられらるということです。我が校のような大規模な大学では、どうしても大人数の授業が多くなります。けれども40人というクラスですと、教員

も学生一人一人に目配りができる。それによって、何か問題を抱えている学生に対して早めにケアができるのです。大学の授業や雰囲気は馴染めない、だんだん大学から足が遠のくという悪循環に陥ります。しかしそれでは、大それたと思わないで、1年生のうちから、教員が学生の様々な事情を把握し、学生と面談したり、あるいは保護者の方と連絡をとったりして、きめ細かいケアをすることができると考えています。この科目は非常に有用だと考えていますし、これまで2年間やってきて、実際にそのような成果が出ています。

日本大学の教育理念「自主創造」

日本大学は教育理念として「自主創造」を掲げています。「自主創造」とは、知的好奇心をもって自らが課題に取り組み、新しい道を切り開いていくことです。日本人としての主体性を認識し、その上でグローバル化に対応できる世界的視野で物事を捉える「自主創造」の気風に満ちた人材の育成を目指します。そのベースとなる科目が「自主創造の基礎」です。

この理念の原点は、日本大学の前身「日本法律学校」を創立した明治の初代司法大臣・山田顕義です。吉田松陰の松下村塾に学び、岩倉具視らとともに欧米各国を巡った山田は、教育の重要性と法律制定の必要性を唱え、近代的法治国家の礎を築きました。「司法の日大」の由来がここにあります。日本大学の学祖・山田顕義の精神は、法学部に脈々と受け継がれています。

学祖 山田顕義

9F	司法科研究室 B (特別研究室・桜門研究室)
8F	司法科研究室 A (沼研究室) ラウンジ
7F	行政科研究室 共同研究室 ラウンジ
6F	公認会計士科研究室 税理士科研究室 ラウンジ
5F	司法書士科研究室 弁理士科研究室 ラウンジ
4F	541講堂 542講堂
3F	531講堂 532講堂
2F	司法科研究室事務室 会議室 国際交流センター
1F	エントランスホール 研究事務課
B1	倉庫

5F~9F

5階以上は学生研究室のフロア。各研究室には、個人専用に使え固定席が並び、集中して勉強できる環境が整っている。ラウンジや共同研究室も併設。



学生研究室



ラウンジ



共同研究室

2F~4F

3・4階の講堂は大小4つ。2階には司法科研究室の事務室をはじめ、会議室、国際交流センターが入る。



講堂(大)



講堂(小)



会議室

エントランス



エントランスホール

入口は本館側と水道橋西通り側の2つ。明るいエントランスホールの一角には研究事務課がある。

1F

キャンパス編

学生の新たな「学び」の拠点 新5号館が完成!

日本大学法学部は、2014年に学部創設125周年を迎えました。これを記念して建設が進められてきた新5号館がついに竣工。難関国家資格や公務員を目指す学生のための6つの学生研究室がすべてここに集められ、いよいよこの春から始動しました。オープンしたばかりの新たな“学びの拠点”の館内をいち早く紹介していきます。

**法曹、士業、公務員を志す
6つの学生研究室が集結**

法学部の学部創設125周年記念棟として建設が進められてきた新5号館が、この春、ついにオープンしました。これまでも法学部では、法学部図書館(04年竣工)、10号館(09年竣工)、本館のリニューアル・プロジェクト、そして学生のサークル活動の拠点である6号館(13年竣工)と、より良い環境を学生に提供するキャンパス整備を継続的に進めてきましたが、今回は国家試験、資格試験等を目指して勉学に励む「学生研究室」を中心とした、新たな学

**集中して勉強できる環境
今後もキャンパス整備を継続**

新5号館は法学部の本館に隣接し、各講堂へ授業を受けに行くのも、図書館へ行くのも便利なロケーションです。

びの拠点が誕生します。昨年度まで3号館や8号館に分散していた6つの学生研究室——司法科研究室、司法書士科研究室、弁理士科研究室、税理士科研究室、行政科研究室、公認会計士科研究室がすべて新5号館に集約されたことで、さらに充実した学修環境を提供していきます。(各研究室の詳細はP.8から紹介しています)。

しかも研究室は原則、毎日朝8時から夜10時まで開館しているため、授業が終わったあとや、年末年始や夏休み、春休みに集中して勉強することが出来ます。また5階以上の各フロアにはラウンジも併設されています。

さらに3・4階には少人数のゼミや講義が行える大小の講堂が4つ、2階には司法科研究室の事務室なども入るので、研究室生にとっては利便性がいへん増します。また、海外留学のための国際交流センターも設置されます。法学部では2019年の創立130周年に向けて、さらなるキャンパス整備を進めていきます。



司法科研究室

日大OB・OGの実務家が講師を務める

法曹(裁判官・検察官・弁護士)を志す学生のための研究室。日本大学出身の法曹関係者による「日本大学法曹会」が全面バックアップし、日大OB・OGの弁護士などがゼミの講師を担当するほか、司法試験の多様な科目や試験形式に対応した答案練習会も充実。ここでしっかり勉強すれば、司法試験に合格できるだけの講座群と体制が整っています。

弁理士科研究室

歴史と伝統を誇り、合格者も毎年輩出

知的財産の専門家である国家資格、弁理士を目指すための研究室。50年以上の歴史と実績を誇り、こちらも本学出身の弁理士による校友会が全面サポート。現職のOB・OGによる基礎講座や少人数形式のゼミを、正課の授業後にほぼ毎日開講。毎年、複数名の弁理士試験合格者を輩出しています。合格後も数多くの先輩弁理士と交流できるのも魅力のひとつです。

税理士科研究室

幅広い室生たちに、学ぶ環境を提供

税理士試験合格を目指す人に自習環境を提供する研究室。学部生のほか、大学院生、社会人など幅広い室生が在籍しているので、多くの人脈や交流を得ることができます。研究室生対象に初学者向けの講座も行っています。税理士試験は科目別合格制度が特徴なので1科目ずつ無理せず挑みましょう。



弁理士科研究室

ゼミが連日開講され勉強法を教えてくれる

経営法学科2年 横澤隆一郎さん

弁理士を志したのは、知的財産分野は今後ますます発展する分野だと思ったからです。弁理士試験は短答・論文・口述と進んでいくのですが、各々に適したゼミが連日開講され、各試験を突破するには何をどのように勉強すればいいか具体的に教えてくれます。

法律の勉強は難しい。でも研究室に所属すれば、疑問点を友達と相談したり、先輩や講師の方に尋ねることができます。また、研究室には試験に必要なあらゆる本も所蔵されています。実際に弁理士に会ったことがない人も多いと思いますが、研究室の入室説明会には弁理士の方が来られるので、ぜひ参加してください。

司法書士科研究室

全国でも数少ない司法書士専門の研究室

法律関係の資格でも難易度の高い司法書士試験のための研究室。司法書士の勉強に特化した組織は全国的にも珍しく、しかも本学出身の司法書士校友会がサポート。現職のOB・OGが講師となり、民法、不動産登記法、会社法、商業登記法の主要4科目を1年生のうちからスタートし、課外講座の「司法書士講座」を並行して受講しながら在学中の合格を目指します。

行政科研究室

公務員を目指す学生はぜひ入室しよう

国家公務員採用一般職試験、地方公務員採用試験(上級)の合格を目指す学生のための研究室。公務員試験のための講座、講演会、答案練習会のほか、受験報告会やOB・OG会などの行事で、先輩に実際の仕事内容などを聞くことができます。まずは1年生向けの基礎力対策講座で基礎の基礎を勉強して、2年生以降は課外講座の公務員講座を並行して勉強します。

公認会計士科研究室

快適な自習環境で学生をサポート

公認会計士を目指す学生のための研究室。恒常的な講座は行わず、快適な自習環境を提供することで試験勉強中の学生をサポートします。公認会計士の受験勉強は簿記検定から始めることが一般的なので、まずは課外講座の「簿記2級」を獲得することからスタートしましょう。



行政科研究室

同じ夢を持つ仲間や先輩方との出会い

公共政策学科3年 坂井美香さん

私は公務員を目指していて、そのために集中できる環境で勉強がしたいと考えて入室しました。行政科研究室には様々な問題集や参考書がありますし、夏休みの合宿では面接試験やグループディスカッションの練習なども行います。また、実際に現場で活躍されている先輩など、おそらく研究室に入っていなければ関わりを持てなかった方々と交流できたのもとても良かったです。

公務員試験には情報が大切だといわれています。しかし、一人で情報を集めるのは難しい。先生方や先輩方の協力のもと、同じ志を持つ仲間とともに頑張ることが試験でプラスに働くと思います。

資格取得編

資格取得支援と課外講座

法学部では学生の資格取得をバックアップする「学生研究室」と「課外講座」を展開しています。なかでも「学生研究室」は、これまで分散していた6つの研究室が、この春からすべて新5号館に集約され、新たな学修拠点としてパワーアップ! 資格取得に直結した多彩な講座を開講する「課外講座」と連動して、より充実したプログラムと環境を学生に提供できるようになりました。その支援内容と展望について各担当職員に伺いました。



新5号館の学生研究室。入室試験の成績上位者は自分専用の固定席が1年間貸与され、ロッカーも使えるので何かと便利。原則、毎日朝8時から夜10時まで開館している。

法学部には、法曹(裁判官・検察官・弁護士)を志す学生のための司法科研究室をはじめ、司法書士や弁理士、税理士、公認会計士を目指す学生の研究室、さらに公務員を志望する学生の研究室と6つの学生研究室があります。「研究室」というと堅いイメージがあるかもしれませんが、ここでは2つの意味付けをしており、まずは組織としての名称、もうひとつは「室」という物理的なスペースです。各研究室には室生専用の自習室があり、仲間と切磋琢磨しながら、資格取得に向かって勉強する組織が「学生研究室」なのです。

学修環境も講師陣も万全の態勢でサポート

学生研究室

難関国家資格等を目指す学生のための6つの研究室

資格試験勉強に集中できる最高の環境です



エクステンションセンター 村上さん

各研究室への入室は、まず4月に学生研究室の説明会を行って仮登録を受け付け、秋に入室試験を実施して本登録となります(一部例外あり)。なお、入室試験の成績優秀者には、専用の固定席が1年間貸与されます。登録料は法学部在学学生なら年間3千円とたいへん手頃です。これで各研究室が主催する様々な講座を受講することができます。新5号館に専用の机やロッカーを持つことができます。

また、学生研究室の講座の多くは、日本大学OB・OGの実務家の方々が担当してくださるのも特徴です。現役の弁護士や裁判官、司法書士や弁理士に勉強法をアドバイスしてもらったり、直接質問できる機会はめったにありません。先輩が後輩を教えるという法学部の伝統が、学生研究室にしっかりと根付いているのです。

学生研究室のスタッフ一同、ハード面もソフト面も万全の態勢で学生の皆さんをサポートします。ぜひ未来を切り開いてほしいと思います。

平成28年度 資格試験合格者褒賞制度

学生たちの資格取得を応援!!

法学部校友会の共催による、法学部および大学院の学生の資格取得を支援するための制度。毎年春を目指す資格(公務員試験も対象)のエントリーを受け付け、見事合格した学生には校友会から賞状と褒賞(図書カード)が贈られます。エクステンションセンターで配付する用紙に必要事項を記入して申し込みます。

〈対象資格等一覧〉

- ①司法試験
 - ②司法試験予備試験
 - ③弁理士
 - ④税理士
 - ⑤公認会計士
 - ⑥司法書士
 - ⑦土地家屋調査士
 - ⑧社会保険労務士
 - ⑨行政書士
 - ⑩宅地建物取引士
 - ⑪日商簿記検定1級、2級
 - ⑫秘書技能検定1級、準1級、2級
 - ⑬ファイナンシャル・プランニング技能士2級
 - ⑭知的財産管理技能検定2級、3級
 - ⑮法学検定アドバンスト
- <上級>コース
- ⑯国家公務員採用試験
 - ⑰対象地方公務員採用試験
 - ⑱応用情報技術者



平成27年度 資格試験合格者褒賞授与式

エントリー受付締切
平成28年5月31日(火)18:00まで
申込方法など問い合わせ
エクステンションセンター(10号館2階)

■「学生研究室」の問い合わせ 「司法科研究室」は司法科研究室事務局(5号館2階)、それ以外の5研究室はエクステンションセンター(10号館2階)

就活up!

第6回
新年度スタート
まずは就職指導課へ!

就職指導課は
10号館2階にあります

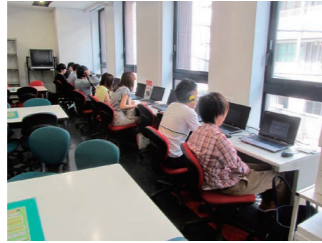
法学部の学生の皆さんの就職活動を支援する就職指導課。気軽に相談できる「相談コーナー」をはじめ、就職活動に役立つ様々な最新情報を提供しています。就職活動の拠点としてぜひ利用してください。

取扱時間：月～金9:00～19:00 土9:00～13:00 日祝休 ※変更の場合あり。



相談コーナー

就職活動でわからないことや悩みごとがあったらこちらへ。就職指導課の職員が様々な相談に親身に応じます。相談申込みは受付カウンターで。



パソコンコーナー

課内には自由に使えるパソコンを設置しています。企業各社の検索・登録・エントリー、NU就職ナビでの求人票閲覧などに利用してください。



就職関連図書の閲覧

就職関係の書籍や雑誌なども豊富に揃っています。広い閲覧コーナーで自由に閲覧できるのはもちろん、書籍は貸出も行っています。

履歴書・自己紹介書
(日本大学様式)と
学校名入り封筒を無料配布

履歴書・自己紹介書や送付用封筒は就職指導課でもらえます。書き方は「相談コーナー」で添削も受けられます。



先輩の就職活動報告書

先輩たちの就職活動を記録した就職活動報告書。過去5年分をファイルしており、自由に閲覧できます。

公務員関係ファイル

国家公務員、地方公務員の採用試験案内、業務説明会情報、官庁訪問情報などのファイルを開覧できます。

就職指導課掲示板

就職指導課入口横の掲示板には、セミナーや企業説明会など就活に役立つ情報が満載。こまめにチェック!

平成27年度 法学部卒業生の 主な就職先 (50音順)

今年春に卒業した先輩たちの主な就職先を紹介します。金融・保険、情報通信、公務など、様々な分野に新社会人として飛び出していました。

あいおいニッセイ同和損害保険(株)、アサヒビール(株)、(株)伊藤園、SMBC日興証券(株)、(株)大塚商会、(株)熊谷組、(株)JTB首都圏、(株)時事通信社、清水建設(株)、城南信用金庫、積水ハウス(株)、(株)セブン-イレブン・ジャパン、(株)仙台放送、全日本空輸(株)、総合警備保障(株)、(株)そごう・西武、ソフトバンク(株)、損保ジャパン日本興亜(株)、第一生命保険(株)、大和証券(株)、大和ハウス工業(株)、(株)千葉銀行、(株)電通、東急リバブル(株)、東京海上日動火災保険(株)、東京瓦斯(株)、

東京地下鉄(株)、(株)東京都民銀行、凸版印刷(株)、日本生命保険(相)、日本通運(株)、日本郵便(株)、野村證券(株)、(株)バンダイ、東日本電信電話(株)、東日本旅客鉄道(株)、前田道路(株)、(株)みずほフィナンシャルグループ、(株)三井住友銀行、(株)三菱東京UFJ銀行、(株)南日本新聞社、明治安田生命保険(相)、山崎製パン(株)、(株)横浜銀行、(株)ヨドバシカメラ、(株)リそなホールディングス、厚生労働省ほか各省庁、東京都庁ほか各都県庁・市役所、警視庁ほか各警察本部。

学生の就職活動を全面的にサポート 就職指導課を上手に利用しよう

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。文字通り都心に位置した三崎町キャンパスを拠点として、皆さんにとって「挑戦だった」と言える経験を積まれることを期待しています。学生時代にしかできない貴重な経験は、そのひとつひとつが自分の働く理由を考えるきっかけにもつながります。皆さんにとって就職活動はまだ先のことですが、今から意識しておくことは決して無駄にはなりません。気になる仕

事に出会ったら、就職指導課の資料で調べてみてください。3年生の皆さん、そろそろ就職活動に向けた準備を本格化させる時期です。就職指導課では皆さんのスムーズな就職活動の助けになるよう、年間を通して様々なイベントを企画しています。前期での主なものには、先輩の就職活動の状況を知り、今後の就職活動について理解を深めるための「総合就職ガイダンス」、年を追うごとに参加者

が増加しているインターンシップについて、心構えを学ぶ「インターンシップガイダンス」、社会人としての基本的なマナーを身につける「就職マナーガイダンス」などがあります。就職活動を進めていく中で行き詰まりを感じたら、一人で考え込まず、ぜひ就職指導課に来てください。そして、スタッフに相談してみてください。きっとよい解決策が見つかるはずです。(就職指導課)

エクステンションセンターは資格取得に直結した各種講座、公務員志望の学生のための講座、さらに「資格試験合格者褒賞制度」(P.8参照)のエントリーを受け付けます。課外講座は募集期間に応募したすべての学生が受講できます。受講料も大学からの補助により、資格取得スクールに比べてたいへん安価です。たとえば司法書士講座は約2年間で3万円、その他も2万円〜2万円で受講できます(教材費別途)。法学部は公務員を目指す学生が多いので、公務員講座は5つのコースを用意しています。合格・内定をとるための人物試験対策にも力を入れています。他にも金融関係に行きたいからファイナンシャル・プランニング技能士(FP)を取っておこうとか、税理士や公認会計士を目指すので簿記は必須という学生も多くいます。法学部で簿記やFPまであるのは、多彩な学科のある本学ならではの強みです。就職対策の秘書技能検定講座は1年生での受講をすすめています。ビジネスマナーや敬語が身につくので就職活動にも役立ちます。昨年も公務員の入門コースや基礎コースが約250名、簿記が約180名

資格取得に関する様々な相談も受けます。まだ進路を決めていないが1年生で取るなら何がいいかとか、また学生研究室と課外講座のどちらを選ぶかという相談も受けられますが、これは両方利用することを推奨しています。たとえば公務員なら、1年生から行政科研究室で基礎を勉強し、研究室に在籍したまま2年生、3年生で公務員講座を併せて受講するのがベストでしょう。法学部はポテンシャルの高い学生が多いので、1年生のうちからぜひ資格にチャレンジしてほしい。資格を取ったことは学生時代に努力した証しになりますし、将来必ず役に立つはず。各講座の申し込みは、4月に課外講座の説明会を行いますので、各説明会の翌日から1週間以内にエクステンションセンターに申し込んでください。

資格のことは何でも相談してください



エクステンションセンター 菅原さん

法律分野講座

司法書士講座	主要4科目の民法、不動産登記法、商法、商業登記法に加えて、民事訴訟法、供託法など9科目の基礎講義を15か月で展開。1年生からの受講がベスト。
社会保険労務士講座	労働基準法をはじめとする全8科目の知識の習得と、答案練習、模擬試験など。2年生の10月より受講を開始し、3年生の8月に初回受験が目標。
行政書士講座	「法律資格の登竜門」と言える資格。行政法、民法などの主要科目から一般知識科目まで基礎から学び、講義と演習を繰り返すことで知識の定着を図る。
宅地建物取引士講座	不動産業はもちろん、一般企業でもその知識を活かせ、就職の強い武器となる資格。出題頻度の高い重要項目を中心に全7科目を基礎から学習。

会計分野講座

簿記(日商2級)講座	財務データを読み取る能力がつく簿記2級検定試験のための講座。初學者でも簿記の基礎から勉強でき、半年で簿記2級取得を目指す。
ファイナンシャル・プランニング技能士講座(2級)	金融機関(銀行、証券、保険等)や不動産関連など、資金または資産のコンサルティングに役立つ資格。全科目の基礎、応用講座、模擬試験などを行う。

■「課外講座」の問い合わせ
エクステンションセンター 10号館2階
※日経講座「ビジネスの基本」、SPI3対策講座は就職指導課(10号館2階)

課外講座

資格取得や公務員試験への 多彩な講座を用意しています

法学部ならではの各種講座
手頃な料金で受講できる

宅建が約150名、秘書検定約360名など多くの学生が受講しています。

資格は将来必ず役に立つ
ぜひチャレンジしてほしい

公務員講座

入門コース (主に2年生、1年生も可)	2年間の公務員試験対策コースの1年目。2年生や初學者向けのインプット講座。学業との両立を重視し、無理なく確実に基礎力を養成する。
春期集中 教養コース (主に2年生、1年生も可)	法学部生にとって苦手意識の強い数的処理と、社会科学、人文科学、自然科学を重点的に学習。3年生での本格的な公務員試験対策の準備に最適。
基礎コース (3年生)	平成29年公務員試験受験を目指す3年生が対象。公務員試験の基礎力を完成することを目的に、一般教養分野を網羅。論文対策では添削も行う。
直前コース (前期:3年生 後期:4年生)	国家一般職、地方上級職、市役所、各種公務員試験に合格するための直前総まとめコース。前期・後期の2部構成。面接など2次試験対策も行う。
警察官・消防官 直前コース (3年生)	平成29年警察官・消防官試験受験者が対象の直前総まとめ講座。教養科目の演習や模擬試験も実施。独学で勉強していた学生にも受講をおすすめ。

就職対策講座

秘書技能検定(準1級・2級)講座	秘書としての資質から、マナー、接遇、敬語、会議資料作成などを学習。就職活動に役立つだけでなく、就職してからも有益な知識、技能が身につく。
日経講座「ビジネスの基本」 (就職指導課担当)	主に3年生が対象。日本経済新聞を使い、就職活動に役立つ日経新聞の読み方、経済とは何かなど、会社の意義や活動等について修得できる。
SPI3対策講座 (就職指導課担当)	主に3年生が対象。入社試験の適性検査として多くの企業で使われる「SPI3」の対策講座。文系学生が苦手とする非言語(数学分野)を中心に。